

※今月のみ受注の書目です。

民俗学

南方熊楠の神社合祀反対運動 自然をいかに捉えたか

(2025 年 9 月中旬刊行予定)

橋爪博幸（桐生大学短期大学部教授）[著]

四六判上製／ 320 頁 税込予価 4,400 円 ISBN978-4-7664-3051-6 C3039

👉 ココに注目！

- ・なぜ南方熊楠は神社合祀反対運動を展開したのか。
- ・南方の自然観やその背後にある思想から運動を捉える試み。

近代日本における生物学、民俗学、博物学の大家である南方熊楠は、明治末頃に地域神社を統廃合する政策への反対運動（神社合祀反対運動）を活発に展開した。従来では、この運動の動機を地域社会の安寧・発展のためと捉える向きが多かったが、本書では、生物種や森林生態系保存にあったことを主張、その背後にある熊楠の自然観や真言密教に連なる思想に迫る。

対象 (民俗学・近代日本史を専攻する) 研究者、学生／一般 (南方熊楠に関心のある層)

類書 鶴見和子ほか『南方熊楠・萃点の思想〈新版〉』(藤原書店)

【営業部からのおすすめポイント】

現代においても、南方熊楠は民俗学等の学問分野の枠を超えて「知の巨人」として根強い人気があります。本書は、後期の熊楠の思想を理解する上で重要となる「神社合祀反対運動」に焦点を当てその全容を解明するとともに、日本における自然保護を目的とした社会運動の嚆矢であったことを紹介します。

(乙子)

👉 主要目次、注文書、関連既刊は裏面に掲載！ ぜひご確認ください！

【主要目次】

はじめに

序 章 南方熊楠の生涯——神社合祀反対運動とは何だったのか

第 1 章 明治後期の神社政策

第 2 章 糸田の猿神社とり潰し事件

第 3 章 磯間の猿神社と神楽神社の合祀計画

第 4 章 西ノ谷村における神社合祀への抗議

第 5 章 神島の保護運動

第 6 章 南方熊楠と寺田寅彦

結 論 熊楠は自然をいかに捉えたか

あとがき



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			橋爪博幸 著 南方熊楠の神社合祀反対運動 —自然をいかに捉えたか ISBN978-4-7664-3051-6 C3039	4,400 円	★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			松居竜五 著 南方熊楠 —複眼の学問構想 ISBN978-4-7664-2362-4 C3039	4,950 円
			志村真幸 著 南方熊楠のロンドン —国際学術雑誌と近代科学の進歩 ISBN978-4-7664-2650-2 C3039	4,400 円